

所属(子ども家庭課)担当者(山本 千恵)内線(476)

タイトル**育児のスタートを応援します！～地域資源を生かした産後ケア事業の充実****概要(発表内容を簡単に記入してください)**

本市では、平成28年度の国の制度化より早く、平成11年度より地域の助産院と先進的に産後ケア事業を開始し、産後ケアに取り組んできました。今般、母子保健法が改正するなど、産後ケアの充実を求められています。

本市のサービス開始にあたっては、本市の地域性にあったサービス提供を行うため、地域の産科医療機関や開業助産師と協議を重ね、令和4年4月から、これまでのショートステイに加え、地域の開業助産師が市内ホテルの協力を得てデイサービスを提供する県内でも珍しい市独自の工夫を凝らしたデイサービス(日帰り)、アウトリーチ(訪問)サービスを開始しました。併せて、「産後ケアパスポート」を新たに発行するなど利便性の向上も図りました。

内容(発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能)**○事業の背景**

本市では、日々の子育てで生まれる不安や悩みを小さなうちに解決して、安心して育児のスタートができるよう、多くの産婦さんと家族が身近に気軽に産後ケアを利用できるサービスの実現に向けて、地域の開業助産師や産科医療機関と協議を重ねてきました。

市内の産後ケアでは、助産師が1人でケアを担う場合が多く、食事や休息場所の提供などが負担となることが大きな課題でした。そこで、市内ホテルに協力を求め、助産師がホテルを活用して食事付きのデイサービスを実施する県内でも珍しい取り組みを始めました。

○令和4年4月から充実した内容・ポイントについて**・デイサービスの開始:**

産婦のニーズに合わせて、食事付きまたは短時間のデイサービスを提供。

食事付きについては、市とロイヤルホテル宗像が覚書を結び、ホテルが食事や部屋・寝具等の提供を担うことで、助産師がケアの提供場所の1つとして活用できるようにした。

・アウトリーチ(訪問)の開始:

宗像・福津管内だけでなく、県助産師会との契約により、里帰り先でも利用できるよう県内広域で利用可能とした。

・申請や利用方法の見直し:妊娠32週から申請可能とし、産後ケアパスポートを発行**・多胎児産婦・家族への支援:**

利用上限回数を増やす、アウトリーチの利用者負担を半額にする等利用しやすく配慮

本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先(所属、担当者名、Tel)

宗像市教育子ども部子ども家庭課 Tel 0940-36-1365(子ども保健係)